

学校名 川口市立青木中学校
所在地 川口市5丁目1番1号
電話 048-253-1371

1 本校の概要

本校は1947年の11月1日に開校しました。今年で78年を迎える、伝統ある学校です。生徒数は756名であり、3年生が6学級、2年生が7学級、1年生が7学級、そして特別支援学級が3学級という川口市内でも大きな学校です。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

本校では、今年度から朝読書の時間が無くなり、図書委員会が中心となって読書活動を推進しています。今回は、その委員会の活動の一部を紹介いたします。

ア ポップ作り

この活動は、読書活動を推進する図書委員が本の魅力を紹介し、普段あまり本に親しみが無い生徒にも本のよさ、作品の魅力を知ってもらうことを目的に行っています。



イ ポイントカード

ポイントカード制では、本に興味がある生徒にももっと多くの本を読んでほしいという思いから発案されました。ポイントカードは貸し出しカードを利用し、1ヶ月に10ポイント(10冊)借りることでブックカバーをプレゼントするという企画です。ブックカバーは、当時の図書委員長が自ら作成し、4つのカバーから選べるということにしました。

昨年まで取り組んでいた朝読書の時間では、多くの生徒が、そのブックカバーをつけて読書をしており、見た目にも来室者の増加と読書の推進が行われていることが分かる取組でした。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ ポップ作りについては、その本の魅力が分かりやすく紹介され、手に取る生徒も興味を引かれている様子が多く見られました。また、図書委員の活動が目に見える形になることで、図書室全体が明るい雰囲気になりました。

- ・ ポイントカード制については、来室者と、本の貸し出し数の増加が成果と言えると思います。手作りのブックカバーですが、作成者の委員長が丁寧に作ってくれたこともあり、来室する生徒は何種類もそのカバーをもらいに来ていました。

(2) 課題

- ・ ポップ作りについては、その本を読まなければならない、また、紹介文を書かなければならないため、時間がかかる取組でした。
- ・ ポイントカード制では、景品をどうするかという点で難しさを感じました。学校内でできること、お金と時間がかからず、そしてある程度継続できるものを考えるところに時間を割きました。

(3) おわりに

読書は想像力だけではなく、良好な人間関係を築く力や先を見通す力なども育みます。生徒達には、じっくりと本の楽しさに浸るという時間が必要不可欠です。今後も本を読む時間を確保できるような取組の工夫を引き続き図書委員会中心に行っていきたいと思います。